舞鶴工業高等	 専門学校	開講年度	平成30年度 (2		授業科目	 電気情報工学実験ⅡA		
	<del>等门于</del> 仪		十成30千度(2	1010平反)	1又未行日	电外用拟工于关款ⅡA		
村日本巡問報 科目番号	0171			科目区分	専門 / 必	收		
2000年 1000年				単位の種別と単位				
皮条形態 開設学科	電気情報			対象学年		2		
<sub>刑政子件</sub> 開設期	前期	<u> </u>		対象子年   週時間数	3			
<sub>用取用</sub> 教科書/教材	1111111	妻/宇軽の第二海に	一直	,				
双科音/教材 坦当教員		•		インターフェース I の授業資料(テーマ2); Moodle参照				
	中川 里均	衰,内海 淳志,芦澤 恵	<u> </u>					
<ul><li>2 PLCと周辺機器と</li><li>3 ネットワーク管理</li></ul>	の接続・計	順序回路の動作にご 測制御ができる。 「セキュリティ」を	ついて理解する を配慮した「情報発	信」ができる。				
ルーブリック								
		理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベ	いの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1			回路や順序回路の 分に理解している	簡単な組み合わせ 回路の動作につい。	t論理回路や順序 Nて理解している	簡単な組み合わせ論理回路や順門 回路の動作について理解していない。		
評価項目2		が十分にできる		PLCと周辺機器と 計測制御ができる	の基本的な接続。	PLCと周辺機器との基本的な接続 計測制御ができない。		
評価項目3		ネットワーク管 ルで、「セキュ た「情報発信」	理者に必要なレベ リティ」を配慮し ができる。	「セキュリティ」 報発信」ができる	を配慮した「情 。 	「セキュリティ」を配慮した「情報発信」ができない。		
学科の到達目標項	目との関	 係						
 学習・教育到達度目標	₹(D)学習・	教育到達度目標 (I	()					
教育方法等	, ,		,					
既要	フェース 特にイン 。	およびネットワーク ターフェースのテ-	7の基礎技術・計測打 -マにおいては、地域	対対の金融の 技術を修得する。 或の問題解決におい	いても当該技術が	用いたシミュレーション,インター 活用可能であることの理解を深める		
授業の進め方・方法	授 テ 1か	れ3つの実験テーマを全て履修する。 は例であり、班編制や実施場所、実施テーマ等は第1週に連絡する。 ディジタル回路の設計と解析 合わせ論理回路および順序論理回路等の設計を行い、これらのシミュレーション実習をする。(持ち物:ノー シーケンス制御 アンサを用い、企画したシステムの開発を行う。ラダープログラム・外部回路の製作を行い、動作状態を計測 テンを評価する。評価には、オシロスコープ、テスター、発振器などを使用する。 情報通信実験 トワーク構築の基礎的実験として、簡単なネットワーク構築を行う。また、ネットワークを流れるデータ(信 トて理解する。(持ち物:エクセルの入ったノートPC他)						
注意点	筆,。 【・・セ・ 【担研内記期 備実テッ前質 教当究線設計 員教室電 りょう のります いっぱい はいい はいい かい しょう いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	は行わず、レボート でにレポート提出が 導書を持ちをもし、が見いでに入ります。 でにスタマ・3 でにスタマ・3 でにスタマ・3 でで理り、が見いが見いです。 ででは、 ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	<ul><li>(内容・提出期限)</li><li>がされていないテージ</li><li>習服を正しく着用して</li></ul>	マがある場合は単位 て実験に臨むこと。 指導書を読み,確認 2 では,毎回実験。 芦澤が担当する。	立を与えない。評 忍をすること。( ノートの提出を課			
	TC THUIL	ianagarra, asiiiza	> 1 \ > 1110		<u> </u>	-x/cocco /		
	週				周ブレの列法日極			
	1週		タル回路の設計と解	1/1	いて理解する	おりき調理回路や順序回路の動作に		
1	2调	テーマ1:ディジ	タル回路の設計と解	<del>オ</del> ┰ ╽.	ᆠᅠᄖᆉᄼᄼᄱᄼ			

授業計画	送業計画								
		週	授業内容	週ごとの到達目標					
1stQ 前期 2ndQ		1週	テーマ1:ディジタル回路の設計と解析	1 簡単な組み合わせ論理回路や順序回路の動作について理解する					
		2週	テーマ1:ディジタル回路の設計と解析	1 簡単な組み合わせ論理回路や順序回路の動作について理解する					
		3週	テーマ1:ディジタル回路の設計と解析	1 簡単な組み合わせ論理回路や順序回路の動作について理解する					
	1stQ	4週	テーマ1:ディジタル回路の設計と解析	1 簡単な組み合わせ論理回路や順序回路の動作について理解する					
		5週	テーマ1:ディジタル回路の設計と解析	1 簡単な組み合わせ論理回路や順序回路の動作について理解する					
		6週	テーマ2:シーケンス制御	2 PLCと周辺機器との接続・計測制御ができる。					
		7週	テーマ2:シーケンス制御	2 PLCと周辺機器との接続・計測制御ができる。					
		8週	テーマ2:シーケンス制御	2 PLCと周辺機器との接続・計測制御ができる。					
	2ndO	9週	テーマ2:シーケンス制御	2 PLCと周辺機器との接続・計測制御ができる。					
		10週	テーマ2:シーケンス制御	2 PLCと周辺機器との接続・計測制御ができる。					
	2.100	11週	テーマ3:情報通信実験	3 ネットワーク管理者に必要な「セキュリティ」を 配慮した「情報発信」ができる。					

		12週		テーマ3:情報通信実験			3 ネットワーク管理者に必要な「セキュリティ」を 配慮した「情報発信」ができる。					
		13	週 テ-		テーマ3:情報通信実験			3 ネットワーク管理者に必要な「セキュリティ」を 配慮した「情報発信」ができる。				
	14		週	テー	テーマ3:情報通信実験			3 ネットワーク管理者に必要な「セキュリティ」を 配慮した「情報発信」ができる。				
			週	テーマ3:情報通		言実験		3 ネットワーク管理者に必要な「セキュリティ 配慮した「情報発信」ができる。			ュリティ」を	
		16週										
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	/ 授業週	
専門的能力 分等	分野別( 門工学	の専	情報系	分野	計算機工学	コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。				3		
						電圧・電流・電力などの電気諸量の測定が実践できる。				3		
		分野別の工			電気・電子 系【実験実 習】	抵抗・インピーダン	3					
				電子		オシロスコープを用いて実際の波形観測が実施できる。				3		
	分野別			【実 習能		キルヒホッフの法則を適用し、実験結果を考察できる。				3		
	学実験	・実	東   カ】 ・ ・			分流・分圧の関係を適用し、実験結果を考察できる。				3		
	習能力					論理回路の動作にて	3	前1,前2,前 3,前4,前5				
			情報系 【実験 習能力	・実	情報系【実 験・実習】	与えられた仕様に合 る。	えられた仕様に合致した組合せ論理回路や順序回路を設計でる 。		設計でき	3	前1,前2,前 3,前4,前5	
評価割合												
	試験		発表		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	it .		
総合評価割合 0		0			0	0	100	0	10	0		
基礎的能力 0			0		0	0	0	0	0			
専門的能力 0		0			0	0	100	0		0		
分野横断的能力 0			0			0	0	0	0	0		